

気候変動影響のリスクの評価

気候変動シナリオ（インパクトチェーン）を念頭に、各生物が受けるリスクを次の①～④の視点で整理。今後、随時更新を行っていくとともに、長期モニタリング計画の総合評価等に基づいて影響発生の有無を判定する（⑤）。

①気候変動を原因とする影響（一般的な知見に基づく可能性）

- ・ 様々な既往研究の知見から判断して、気候変動を原因とする影響がありうるのかについて、「高・中・低」の3段階で評価。

②気候変動を原因とする影響（知床での知見に基づく可能性）

- ・ 知床半島周辺での既往研究やモニタリング結果等の知見から、気候変動を原因とする影響がありうるのかについて、「高・中・低」の3段階で評価。

③影響の重大性（知床での影響の発生が遺産価値にもたらす重大性）

- ・ クライテリア（生態系・生物多様性）の維持が困難になる場合や、他種への影響の波及が甚大である場合に重大性を「高」と評価。
- ・ また、第2期長期モニタリング計画にて、クライテリアの維持を評価対象としている評価項目 A、B、C に紐付けられているモニタリング項目は、重大性を「高」と評価。
- ・ その他、他種との関連性などから相対的にみて「中」「低」を設定。

④知床での近年の傾向（2022年総合評価による各生物の現状）

- ・ 第1期長期モニタリング計画の総合評価の結果を参照し、近年の傾向を整理。（気候変動影響による傾向に限らず）
- ・ その他、知床を対象とした研究成果等からの知見を付加。

⑤影響発生の有無の判定

- ・ 長期モニタリング計画の総合評価の結果に基づき、影響発生の有無を判定。
- ・ ただし総合評価のタイミング（※）によらず、各種モニタリング結果から気候変動の影響が顕著に認められると判断され、かつ③の重大性が高い影響については、その時点で適応策の実行を加速化する等、対応を実施。

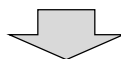
（※）第2期長期モニタリング計画における総合評価のタイミング

- ・ 中間評価…2027年度
- ・ 総合評価…2032年度

リスク評価の整理表（案）

	想定される影響	気候変動を原因とする影響		③ 知床での影響の発生が遺産価値にもたらす重大性	④ 知床での近年の傾向（2022年総合評価による各生物の現状） ※気候変動影響による傾向に限らず
		① 一般的な知見に基づく可能性	② 知床での知見に基づく可能性		
①アザラシ (ゴマフアザラシ)	分布の変化	高	不明	中	遺産登録時の状況を維持
	来遊時期の変化（短期化）	高		中	
	来遊頭数の減少	高		高	
	繁殖機会の減少	高		高	
②トド	分布の変化	中	不明	中	情報不足
	来遊時期の変化	高		中	
	来遊頭数の変化生態（食性）の変化	高		高	
③浅海域生物 (魚類・大型甲殻類・無脊椎動物・海藻類)	分布の変化	高	不明	高	遺産登録時の状況を維持
	種構成の変化	高		高	
	生物量の変化	高		中	
④スケトウダラ	分布の変化	中	不明	高	遺産登録時の状況を維持
	来遊量・現存量の変化	中		高	
	産卵数の変化	中		高	
⑤海鳥 (ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウ)	営巣数・つがい数の減少	高	不明	高	ウミウやカモメ類が減少
	繁殖成功率・生産力（つがい当たり巣立ち幼鳥数）の低下	高		高	
	個体数の減少	中		高	
⑥-1 海ワシ類（越冬オジロワシ・オオワシ）	越冬個体数の減少	低	不明	高	遺産登録時の状況を維持
⑥-2 海ワシ類（繁殖オジロワシ）	営巣数・つがい数の減少	高	不明	高	遺産登録時の状況から改善傾向
	繁殖成功率・生産力（つがい当たり巣立ち幼鳥数）の低下	高		高	
	個体数の減少	中		高	
⑦サケ類 (サケ、カラフトマス、サクラマス)	分布の変化	高	不明	高	河川工作物の改良により、遡上・降海が促進
	稚魚降下数の減少	高		高	
	産卵床数の減少	高		高	
	遡上数の減少・回帰率の低下	高		高	
⑧ヒグマ	市街地や農地への出没	高	不明	高	遺産登録時の状況を維持
	個体数の変化	高		高	

	想定される影響	気候変動を原因とする影響		③ 知床での影響の発生が遺産価値にもたらす重大性	④ 知床での近年の傾向（2022年総合評価による各生物の現状） ※気候変動影響による傾向に限らず
		① 一般的な知見に基づく可能性	② 知床での知見に基づく可能性		
⑨-1 高山植生	群落の組成の変化・多様性の減少	高	不明	高	遺産登録時の状況を維持
	特定の種の衰退・絶滅（希少植物の分布・個体数の変化）	高		高	
⑨-2 森林植生	群落の組成の変化・多様性の減少	高	不明	高	
	特定の種の衰退・絶滅（稚樹密度の低下、個体数・開花株数の減少）	高		高	
⑨-3 草原・海岸植生	群落の組成の変化・多様性の減少	高	不明	高	
	特定の種の衰退・絶滅（希少植物の分布・個体数の変化）	高		高	
⑩エゾシカ	分布の拡大	高	不明	高	
	個体数の増加	高		高	
⑪オシロコマ	分布の変化	低	不明	高	増加傾向が認められる河川もあるが、全体としては減少傾向
	個体数の減少	中～高		高	



⑤影響発生の有無の判定
長期モニタリング計画の総合評価の結果に基づき、影響発生を判定